

2-4 学修成果の評価や卒業認定の基準

2-4-1 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

環太平洋大学は、『挑戦と創造の教育』を建学の精神とし、「豊かな人間性と個性」「深い専門性と実践力」「コミュニケーション能力とグローバルマインド」を身につけ、主体的に社会に貢献しようとする意欲と能力を備えた人材の育成を目指しています。これらの方針の下で定められた教育課程により学業を修め、以下の資質・能力を持つ人材として認められる学生に対して学士の学位を授与します。

- (1) 他者と付き合い、感情を調整し、目標を達成できる。
- (2) 専門分野における最先端かつ高度な知識・技能を獲得できる。
- (3) 課題解決のため、最先端かつ高度な知識・技能を活用できる。
- (4) 地域社会や産業界の課題を発見し、協働を通して社会変革に参画することができる。
- (5) 異なる社会・文化・言語を深く理解し、地球市民として広く交流できる。

《**体育学部 学位授与の方針**》

体育学部では、大学・学部の教育研究上の目的、人材養成の目的に従って、定められた124単位以上の単位を修得し、豊かな人間性、健康・スポーツ科学に関する専門的知識と、競技スポーツ、健康運動、健康・スポーツ教育、社会体育のいずれかの分野に関する実践力、コミュニケーション能力とグローバルマインドを身に付け、主体的に社会に貢献しようとする意欲と能力を備えた学生に「学士（体育学）」もしくは「学士（健康科学）」の学位を授与する。

体育学部 体育学科

体育学部・体育学科では、本学の課程を修め、124単位以上の単位修得と必修等の条件を充たしたうえで、以下の資質・能力を修得・活用し、全国的、地域的な各レベルの体育・スポーツ界をリードする多様な専門家としての実践力を備えた人物に学士（体育学）を授与します。

- (1) 体育・スポーツを通して、他者と付き合い、感情を調整し、目標を達成できる。
- (2) 体育・スポーツの専門分野における最先端かつ高度な知識・技能を獲得できる。
- (3) 体育・スポーツにおける課題解決のため、最先端かつ高度な知識・技能を活用できる。
- (4) 体育・スポーツにおける地域社会や産業界の課題を発見し、協働を通して課題の解決に参画することができる。
- (5) 体育・スポーツを通して、異なる社会・文化・言語を深く理解し、地球市民として広く交流できる。

体育学部 健康科学科

健体育学部・健康科学科では、本学の課程を修め、124単位以上の単位修得と必修等の条件を充たしたうえで、以下の資質・能力を修得・活用し、教育専門職としての実践力を備えた人物に学士（健康科学）を授与します。

- (1) 柔道整復学、健康科学、スポーツ医科学を通して、他者と付き合い、感情を調整し、目標を達成できる。
- (2) 柔道整復学、健康科学、スポーツ医科学分野における最先端かつ高度な知識・技能を獲得できる。
- (3) 柔道整復学、健康科学、スポーツ医科学における課題解決のため、最先端かつ高度な知識・技能を活用できる。
- (4) 柔道整復学、健康科学、スポーツ医科学における地域社会や医療界の課題を発見し、協働を通して課題の解決に参画することができる。
- (5) 柔道整復学、健康科学、スポーツ医科学を通して、異なる社会・文化・言語を深く理解し、地球市民として広く交流できる。

〈次世代教育学部 学位授与の方針〉

次世代教育学部では、大学・学部の教育研究上の目的、人材養成の目的に従って、定められた124単位以上の単位を修得し、豊かな人間性、教育学・保育学・心理学・社会学などに関する専門的知識とそれらを活かす実践力、コミュニケーション能力、異文化理解力を身に付け、主体的に社会に貢献しようとする意欲と能力を備えた学生に「学士（次世代教育学）」の学位を授与する。

次世代教育学部 こども発達学科

次世代教育学部・こども発達学科では、本学の課程を修め、124単位以上の単位修得と必修等の条件を満たしたうえで、以下の資質・能力を修得・活用し、教育専門職としての実践力を備えた人物に学士（次世代教育学）を授与します。

- (1) 他者と付き合い、感情を調整し、目標を達成できる。
- (2) 保育士・幼稚園教諭養成の専門分野における最先端かつ高度な知識・技能を獲得できる。
- (3) 教育に関する課題解決のため、最先端かつ高度な知識・技能を活用できる。
- (4) 地域社会における保育・教育の課題を発見し、協働を通して課題の解決に参画できる。
- (5) 教育を通して、異なる社会・文化・言語を深く理解し、地球市民として広く交流できる。

次世代教育学部 教育経営学科

次世代教育学部・教育経営学科では、本学の課程を修め、124単位以上の単位修得と必修等の条件を満たしたうえで、以下の資質・能力を修得・活用し、教育専門職としての実践力を備えた人物に学士（次世代教育学）を授与します。

- (1) 他者と付き合い、感情を調整し、目標を達成できる。
- (2) 初等・中等教育の専門分野における最先端かつ高度な知識・技能を獲得できる。
- (3) 初等・中等教育に関する課題解決のため、最先端かつ高度な知識・技能を活用できる。
- (4) 地域社会における初等・中等教育の課題を発見し、協働を通して課題解決に参画することができる。
- (5) 初等・中等教育を通して、異なる社会・文化・言語を深く理解し、地球市民として広く交流できる。

〈経済経営学部 学位授与の方針〉

経済経営学部では、大学・学部での教育研究上の目的、人材育成の目的に従って、定められた124単位以上の単位を修得し、豊かな人間性と生涯学習力、経営に対する総合的な学習経験に基づく知識の習得とそれらを活かす実践力および、幅広い教養に基づく課題提案力やプレゼンテーション能力、異文化理解に基づくコミュニケーション能力、そして国際人としての自覚を身に付け、主体的に社会に貢献しようとする意欲と能力を備えた学生に「学士（経営学）」の学位を授与する。

経済経営学部 現代経営学科

経済経営学部・現代経営学科では、本学の課程を修め、124単位以上の単位修得と必修等の条件を満たしたうえで、以下の資質・能力を修得・活用し、教育専門職としての実践力を備えた人物に学士（経営学）を授与します。

- (1) 他者と付き合い、感情を調整し、目標を達成できる。
- (2) 経済・経営分野における最先端かつ高度な知識・技能を獲得できる。
- (3) 経済・経営に関する課題解決のため、最先端かつ高度な知識・技能を活用できる。
- (4) 地域社会や産業界の課題を発見し、協働を通して社会変革の担い手として参画できる。
- (5) 留学や国際交流などを通して、異なる社会・文化・言語を深く理解し、地球市民として国際社会に貢献できる。

[2023年5月1日現在]